

PHONIC

Powerpod 620 **PLUS**

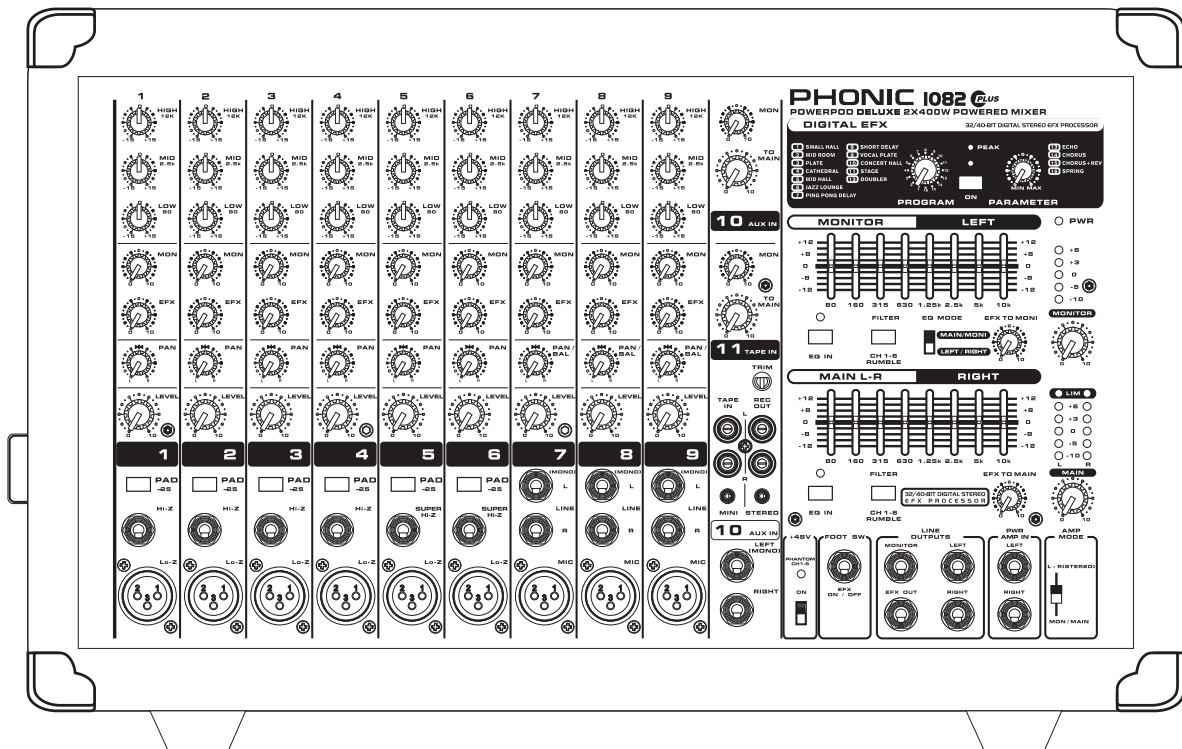
Powerpod 740 **PLUS**

Powerpod 780 **PLUS**

Powerpod 1062 **PLUS**

Powerpod 1082 **PLUS**

POWERED MIXERS



Powerpod 1082 Plus

取扱説明書

Powerpod 620 
Powerpod 740 
Powerpod 780 
Powerpod 1062 
Powerpod 1082 
POWERED MIXERS

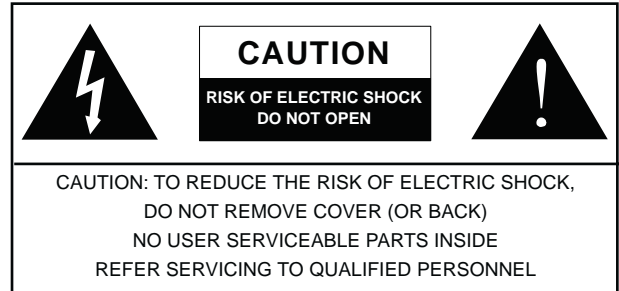
CONTENTS

基本性能	3
簡単セットアップ	4
機器の接続	4
コントロール/設定	7
仕様	10
デジタルエフェクト	12
接続例	13
寸法	18
ダイヤグラム	19

安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間で使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気を必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様ご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

基本性能

Powerpod 620 Plus

- メイン1/メイン2およびメイン/モニター用100W+100W/4Ωアンプ(モノラルブリッジ時200W/8Ω)
- 16種類のプログラム、32bitデジタルステレオマルチエフェクトプロセッサ
- 7バンドステレオグラフィックイコライザー
- 6系統のバランスタイプXLR入力端子
- 8系統の1/4"ライン入力端子
- アコースティックエレキギター、エレキギター、エレキベースからの直接入力に適した2系統のハイ・インピーダンス入力
- 2系統の内蔵リミッター
- チャンネル1~4にPADボタン装備
- 各入力チャンネルにモニター/エフェクトセンド装備
- AUX入力
- +48Vファンタム電源

Powerpod 740 Plus/780 Plus

- Powerpod 740 Plus/780 Plus: メインL/Rおよびメイン/モニター用220W+220W/4Ωアンプ(モノラルブリッジ時440W/8Ω)
- Powerpod 780 Plus: メインL/Rおよびメイン/モニター用300W+300W/4Ωアンプ
- 16種類のプログラム、24bitデジタルステレオマルチエフェクトプロセッサ
- メイン(ステレオ)/モニターおよびメインL/R用デュアル7バンドステレオグラフィックイコライザー(IN/OUTスイッチ付き)
- 7系統のバランスタイプXLR入力端子
- 10系統の1/4"ライン入力端子
- アコースティックエレキギター、エレキギター、エレキベースからの直接入力に適した2系統のハイ・インピーダンス入力
- 2系統の内蔵リミッター
- マイク入力用ランプリングフィルター
- チャンネル1~4にPADボタン装備
- 各入力チャンネルにモニター/エフェクトセンド装備
- AUX入力
- +48Vファンタム電源

Powerpod 1062 Plus / 1082 Plus

- Powerpod 1062 Plus: メインL/Rおよびメイン/モニター用300W+300W/4Ωアンプ
- Powerpod 1082 Plus: メインL/Rおよびメイン/モニター用400W+400W/4Ωアンプ
- 16種類のプログラムとメインパラメーターつまみ、タップつまみを搭載した、24bitデジタルステレオマルチエフェクトプロセッサ
- メイン(ステレオ)/モニターおよびメインL/R用デュアル10バンドステレオグラフィックイコライザー(IN/OUTスイッチ付き)
- 9系統のバランスタイプXLR入力端子
- 12系統の1/4"ライン入力端子
- アコースティックエレキギター、エレキギター、エレキベースからの直接入力に適した2系統のハイ・インピーダンス入力
- 2系統の内蔵リミッター
- マイク入力用ランプリングフィルター
- チャンネル1~6にPADボタン装備
- 各入力チャンネルにモニター/エフェクトセンド装備
- ステレオAUX入力
- +48Vファンタム電源

簡単セットアップ

1. 本機器の電源がすべてオフになっていることを確認します。
2. フェーダーとレベル調整つまみを最小値にセットします。
3. 使用する楽器や入力機器を、本機器の各入力端子に接続します。
4. 使用する出力機器を本機器の各出力端子に接続します。

注: 本機器のアンプ出力には、スピーカー以外の機器を接続しないでください。スピーカー以外の不適切な機器を接続すると、それらの機器が損傷するおそれがあります。また、アンプ出力とスピーカーの接続にギター用ケーブルを使用しないでください。

5. 本製品に付属の電源ケーブルを接続し、本機器の電源スイッチをオンにします。

機器の接続

チャンネル入力

1. XLR Lo-Z入力

コンデンサーマイクやダイナミックマイク、リボンマイクなどを接続するXLR入力端子です。

注: コンデンサーマイクをご使用頂く際は、ファンタム電源をご使用下さい。ファンタム電源を使用される場合は使われるマイクロフォンの仕様を十分に確認ください。不適切な使用をされた場合に機材が破損する恐れがあります。

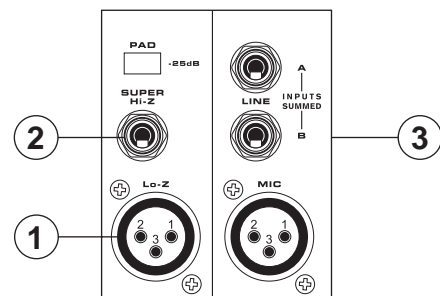
2. 1/4"Hi-Z/SUPER Hi-Z入力ジャック

アンバランス信号用の標準的な1/4"TRS/TSプラグを接続出来ます。Hi-Z入力にはバランス信号用のTRSプラグを接続可能で、マイクのほか、ライン出力を持つ機器(シンセサイザー、ドラムマシンなど)を接続することが出来ます。SUPER Hi-Z入力にはアンバランス信号用のTSプラグを接続可能で、エレキギターやベースなどのハイインピーダンス出力を持つ機器を接続できます。

注: ライン出力を持つ機器をHi-Z入力やSUPER Hi-Z入力に接続する場合、PAD-25ボタンをオンにしてください。

3. ステレオチャンネル入力

Powerpod 740、780、1062、1082 Plusパワードミキサーには3系統の、Powerpod 620 Plusには2系統のステレオ入力が用意されています。XLR端子には標準のXLRオスコネクターを持つマイクを接続し、2つのLINE入力用1/4"TSジャックにはキーボードなどのライン入力機器を接続します。ステレオリターン入力にモノラル機器を接続したい場合は、外部機器の1/4"フォンジャックとステレオチャンネルのL(モノラル)端子を接続し、R端子は何も接続せずにそのままにします。L側に入力された信号がR側の入力にも反映されます。



マスターセクション

4. テープ入力 (LおよびR) (TAPE IN)

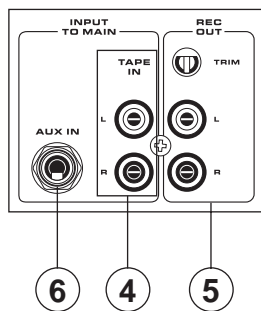
MP3、CDプレーヤーなどを接続するためのRCAケーブルを接続出来ます。また、ミニステレオジャックも用意されています。

5. REC OUT (L/R)

TAPE IN端子と同様に、本端子にRCAケーブルを接続して各種録音機器に信号を送ることができます。また、ミニステレオジャックも用意されています。本端子にはTRIMつまみが用意されており、録音レベルが異なる装置にも接続することが出来ます。

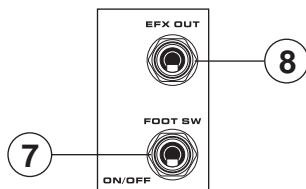
6. AUX IN

このTS端子 (Powerpod 620、740、780 Plusではモノラル、Powerpod 1062 Plusと1082 Plusではステレオ) には、サブミキサーや外部のエフェクトプロセッサなど、外部機器を接続できます。それらの外部機器で処理された信号は、本端子に入力された後、AUXミキシングバスに送られます。ステレオAUX入力 (Powerpod 1062、1082 Plusのみ) は、1/4"フォンジャックをL (モノラル) ステレオ端子に接続し、R端子には何も接続せずそのままにしてモノラル入力として使用できます。



7. FOOT SWジャック

内蔵デジタルエフェクトプロセッサの状態を切り替えるためのフットスイッチ (別売り) を接続します。Powerpod 620、740、780、1062、1082 Plusには、いずれもフットスイッチジャックが1つ用意されており、デジタルエフェクトをリモートでオン・オフすることが可能です。



8. EFX OUT

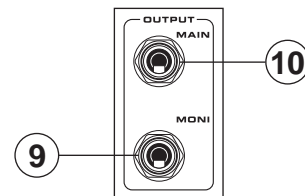
EFXセンドミキシングバスからの信号が出力されます。外部のデジタルエフェクトプロセッサを接続したり、アンプやスピーカーなど、目的とするセッティングに応じた機器を接続したりするのに使います。

9. MONI出力

モニターセンドミキシングバスからの信号が出力されます。本端子には、アンプやスピーカーを接続することが出来ます。

10. MAIN出力

メインミキシングバスからのステレオライン信号が出力されます。パワーアンプやミキサー、PAシステム、その他各種のシグナルプロセッサにMAIN出力を送る際に使用します。Powerpod 620、740、780 PlusにはMAIN出力ジャックが用意されています。一方、Powerpod 1062と1082 Plusにはステレオメインジャックが用意されています。



11. POWER AMP IN (Powerpod 1062、1082 Plus)

外部ラインレベルステレオ信号を内蔵パワーアンプに送る際に使用します。このパワーアンプ端子に機器が接続された場合、メイン信号は自動的にパワーアンプをバイパスし、インサートされた信号が増幅されて、代わりにスピーカー出力に送られます。

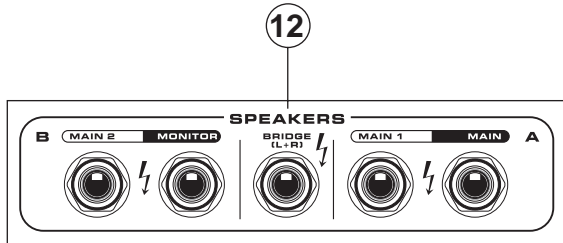


リアパネル

12. SPEAKERS出力

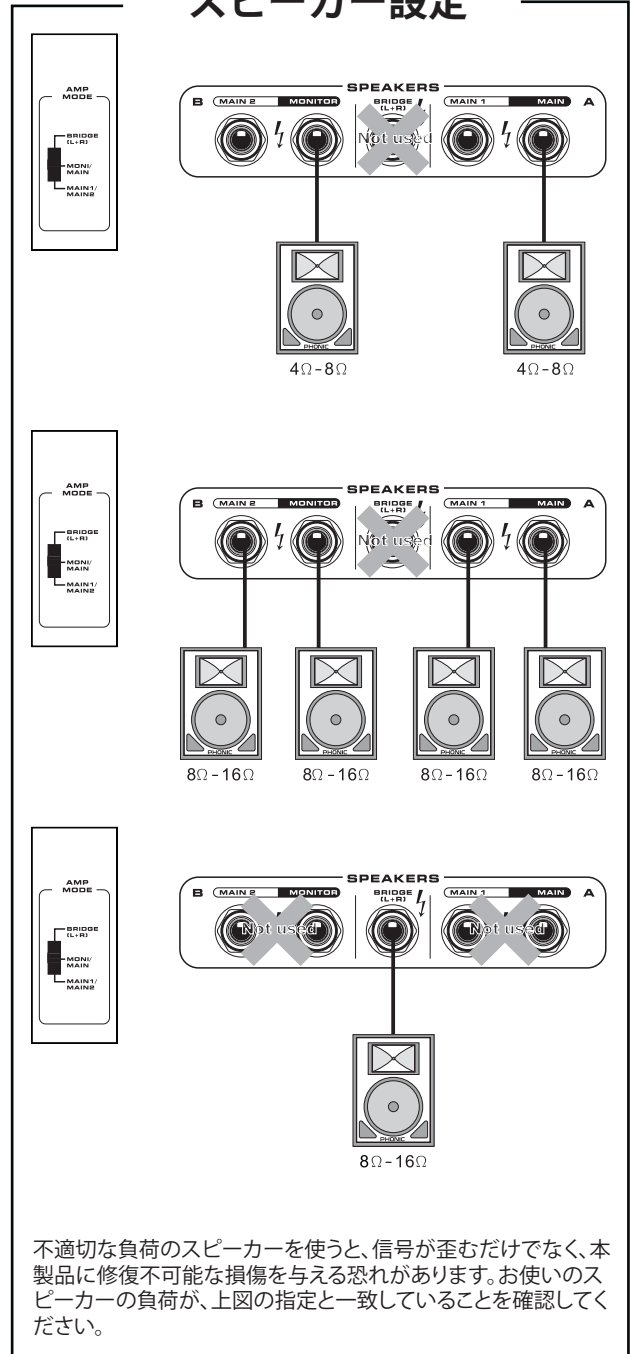
内蔵パワーアンプの信号をスピーカーに出力する際に使用します。スピーカー出力は、いずれのモデルも1/4"フォンジャックで構成されています。AMP MODE選択スイッチがMAIN L/R、MAIN 1/MAIN 2またはMONI/MAINに設定されている場合、MAIN 1とMAIN 2のSPEAKERS出力のジャックAに、4~8Ωのスピーカーをそれぞれ1つずつ接続できます。8~16Ωのスピーカーを、左右(MAIN 1とMAIN 2)のSPEAKERS出力に2つずつ(ジャックAとジャックBに1つずつ)接続することが出来ます。ブリッジモノラルモードを選択した場合は、8~16ΩのスピーカーをBRIDGE(L+R)と書かれたSPEAKERS出力にのみ接続出来ます。スピーカー接続の詳細については、右にあるスピーカー設定の図をご覧ください。

注: SPEAKERS出力の信号は、パワーアンプで生成されますので、他の機器の損傷を防ぐため、パッシブスピーカー以外は接続しないでください。



ブリッジモノラルモードを使用できるのは、Powerpod 620 Plusと740 Plusのみです。Powerpod 780 Plus、1062 Plus、1082 Plusでは使用できません。お使いのアンプではブリッジモノラルモードを使用できない場合、スピーカー設定図のブリッジ接続部分については適用できませんのでご注意ください。

スピーカー設定



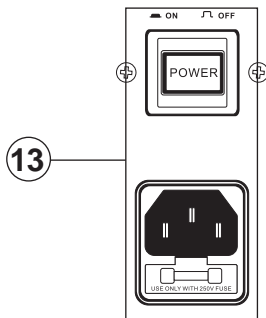
不適切な負荷のスピーカーを使うと、信号が歪むだけでなく、本製品に修復不可能な損傷を与える恐れがあります。お使いのスピーカーの負荷が、上図の指定と一致していることを確認してください。

コントロール/設定

リアパネル

13. POWERボタンと電源コネクター

POWERボタンを押すと、本機器に電源がオンになります。電源コネクターには、付属のAC電源コードを接続します。必ず付属の電源コードをお使い下さい。



チャンネルコントロール

14. HIGHコントロール

高音域 (12kHz) を ±15dB の範囲でブースト/カットします。

15. MIDコントロール (Powerpod 740、780、1062、1082 Plusのみ)

中音域を ±15dB の範囲でブースト/カットします。

16. LOWコントロール

低音域 (80Hz) を ±15dB の範囲でブースト/カットします。

17. MONIレベルコントロール

モニターミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。

18. EFXレベルコントロール

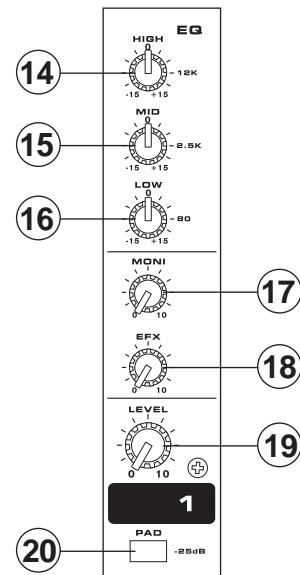
EFX OUT に送られる信号レベルを調整します。EFX OUT には、外部のシグナルプロセッサーを接続したり、(外部で処理された信号はステレオリターン端子より入力出来ます) または必要に応じて単に補助出力するのに使います。またこのつまみは、内蔵のデジタルエフェクトパネルに送られる信号のレベルも調整します。

19. チャンネルLEVELコントロール

該当するチャンネルからメインミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。

20. PAD-25dBボタン

PAD-25dBボタンを押すと、入力信号が25dB減衰されます。PAD-25dBボタンは、本機器に外部機器のライン出力を接続するときのみオンにしてください。



デジタルエフェクトプロセッサ

21. エフェクトON/OFFボタン (インジケータ付き) (Powerpod 740、780、1062、1082 Plusのみ)

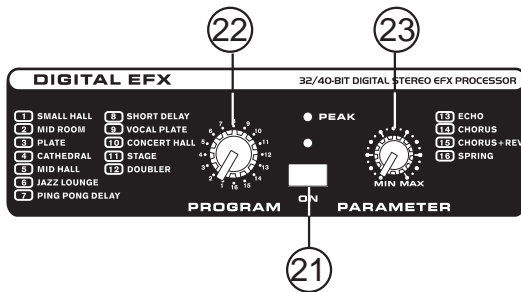
内蔵エフェクトプロセッサをオン・オフします。内蔵エフェクトプロセッサがオンのとき、LEDインジケータが点灯します。

22. PROGRAMコントロール

本機器に内蔵されている16種類の内蔵デジタルエフェクトを選択します。つまみの上部に、各番号に対応するエフェクト名が記されています。エフェクトの詳細については、デジタルエフェクト一覧表をご覧ください。

23. PARAMETERコントロール

選択されたエフェクトのメインパラメータを調整します。各エフェクトのパラメータについては、デジタルエフェクト一覧表をご覧ください。



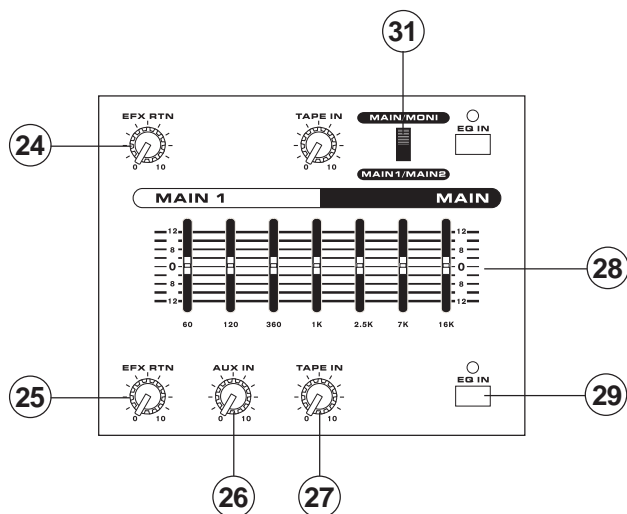
マスターセクション

24. EFX TO MONITORコントロール

内蔵エフェクトプロセッサで処理されてモニターミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。

25. EFX TO MAINコントロール

内蔵エフェクトプロセッサで処理されてMAIN L/Rミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。



26. AUX INコントロール

Powerpod 620、740、780 PlusにはAUX INつまみが1つ用意されています。このつまみでは、AUX IN入力からメインミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。一方、Powerpod 1062と1082 PlusにはAUX INつまみが2つ用意されています。そのうち上側のつまみはモニターミキシングバスに送られる信号レベルを調整し、下側のつまみはメインL/Rミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。

27. TAPE INコントロール

Powerpod 620 PlusにはTAPE INつまみが1つ、イコライザーの下に用意されています。このつまみでは、AUX IN入力からメインミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。Powerpod 740、1062、1082 PlusではTAPE INつまみが2つ用意されています。そのうち上側のつまみはモニターミキシングバスに送られる信号レベルを調整し、下側のつまみはメインL/Rミキシングバスに送られる信号レベルを調整します。

28. グラフィックイコライザー

各周波数帯域を±12dBの範囲でブースト/カットすることができます。Powerpods 740、780、1062、1082 Plusにはすべてデュアルグラフィックイコライザーが用意されています。そのうち、Powerpods 1062と1082 Plusの場合は10バンドイコライザーが2つ、740と780の場合は7バンドイコライザーが2つとなっています。Powerpod 620 Plusにはシングル7バンドグラフィックイコライザーが用意されており、メインおよびモニター信号を調整することができます。上段のイコライザーでモニター信号 (EQ選択スイッチが、Powerpod 1062と1082 Plusの場合はMAIN Lの位置にあればMAIN L、Powerpod 740 Plusの場合はMAIN 2の位置にあればメイン2信号) を調整します。これに対して、下段のイコライザーではMAIN L/R信号 (EQ選択スイッチが、Powerpod 1062と1082 Plusの場合はMAIN Rの位置にあればMAIN R、Powerpod 740 Plusの場合はMAIN 2の位置にあればメイン2信号) を調整します。

29. EQ INボタン (インジケータ付き)

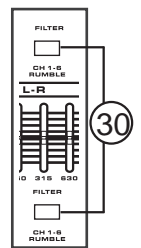
(Powerpod 740、780、1062、1082 Plusのみ)

対応するグラフィックイコライザーが作動します。イコライザーが作動中は、対応するインジケータが点灯します。

30. ランブルフィルター

(Powerpod 1082 Plusのみ)

チャンネル1~6のランブルフィルターをオンにします。ランブルフィルターは、入力信号に影響を及ぼす可能性がある低周波サウンドを除去する場合に役立ちます。



31. EQ選択スイッチ

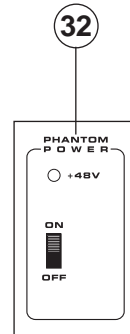
(Powerpod 740、780、1062、1082 Plusのみ)

EQ選択スイッチ (Powerpod 740、780、1062、1082 Plusのみ装備) を使うと、本機器のイコライザーペアの設定を切り替えることが出来ます。Powerpod 1062と1082 Plusの場合、本スイッチが上側にセットされていれば、上段のイコライザーはモニター信号の調整に使われ、下段のイコライザーはメインL/R信号の調整に使われます。本スイッチが下側にセットされていれば、イコライザーはメインL/R信号の調整に使われます。740と780の場合、本スイッチが上側にセットされていれば、1062と1082と同じように使用できます。下側にセットされていれば、メイン1/2信号の調整に使われます。

32. PHANTOM POWERスイッチ (インジケータ付き)

全てのモノラルチャンネルのXLR入力に+48Vファンタム電源が供給され、これらのチャンネルでコンデンサーマイクが使えるようになります。PHANTOM POWERスイッチをオンにすると、対応するインジケータが点灯します。

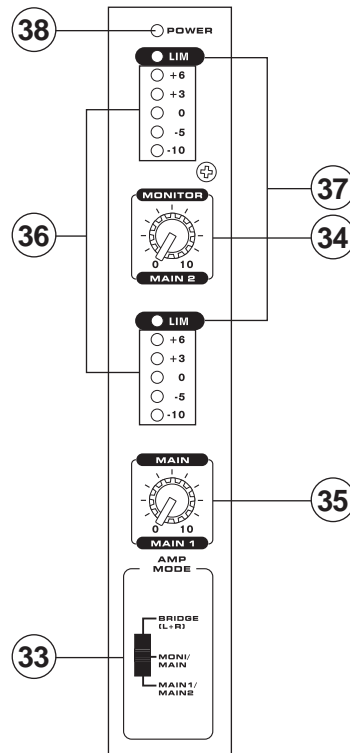
※コンデンサーマイクをご使用頂く際は、ファンタム電源をご使用下さい。ファンタム電源を使用される場合は使われるマイクロフォンの仕様を十分に確認ください。不適切な使用をされた場合に機材が破損する恐れがあります。



33. AMP MODE選択スイッチ

内蔵パワーアンプからリアパネルのSPEAKER出力に送られる信号を切り替えることができます。このスイッチでは、3つのモードから選択できます。MONI/MAINを選択した場合は、モニターおよびメイン信号をそれぞれ対応するスピーカー出力に送り、MAIN1/MAIN2を選択した場合は、メイン信号をスピーカーに送り、BRIDGE (L+R) を選択した場合は、メインL/Rを1つにまとめてブリッジ出力(L+R)に送ります。Powerpod 780 Plus、1062 Plus、1082 Plusは、ブリッジ接続に対応していないのでご注意ください。

注: ブリッジモノラル接続する場合、本体背面にあるMONI/MAINのA/Bジャックにスピーカーを接続しないでください。この場合にはBRIDGEジャックにのみスピーカーを接続してください。



34. MONITORレベルコントロール

モニター出力信号レベルを調整します。

35. MAINレベルコントロール

メインL/Rおよびスピーカー出力信号レベルを調整します。

36. レベルメーター

メインL/Rステレオ (またはメインモノラル) およびモニター信号のレベルがリアルタイムに表示されます。出力レベルが約+4dBuのとき、0dBのインジケータが点灯します。Powerpod 620 Plusでは、5セグメントデュアル表示のメーターが1つ用意されています。また740と780では、5セグメントシングル表示のメーターが2つ用意されており、1つはモニター信号用、もう1つはメイン信号用になっています。1062と1082 Plusでは、モニター信号用として5セグメントシングル表示のメーターが、メイン信号用として5セグメントデュアル表示のメーターが用意されています。

37. LIMインジケータ

(Powerpod 740、780、1062、1082 Plusのみ)

内蔵リミッターが作動すると点灯します。

38. POWERインジケータ

本機器の電源がオンのとき点灯します。

仕様

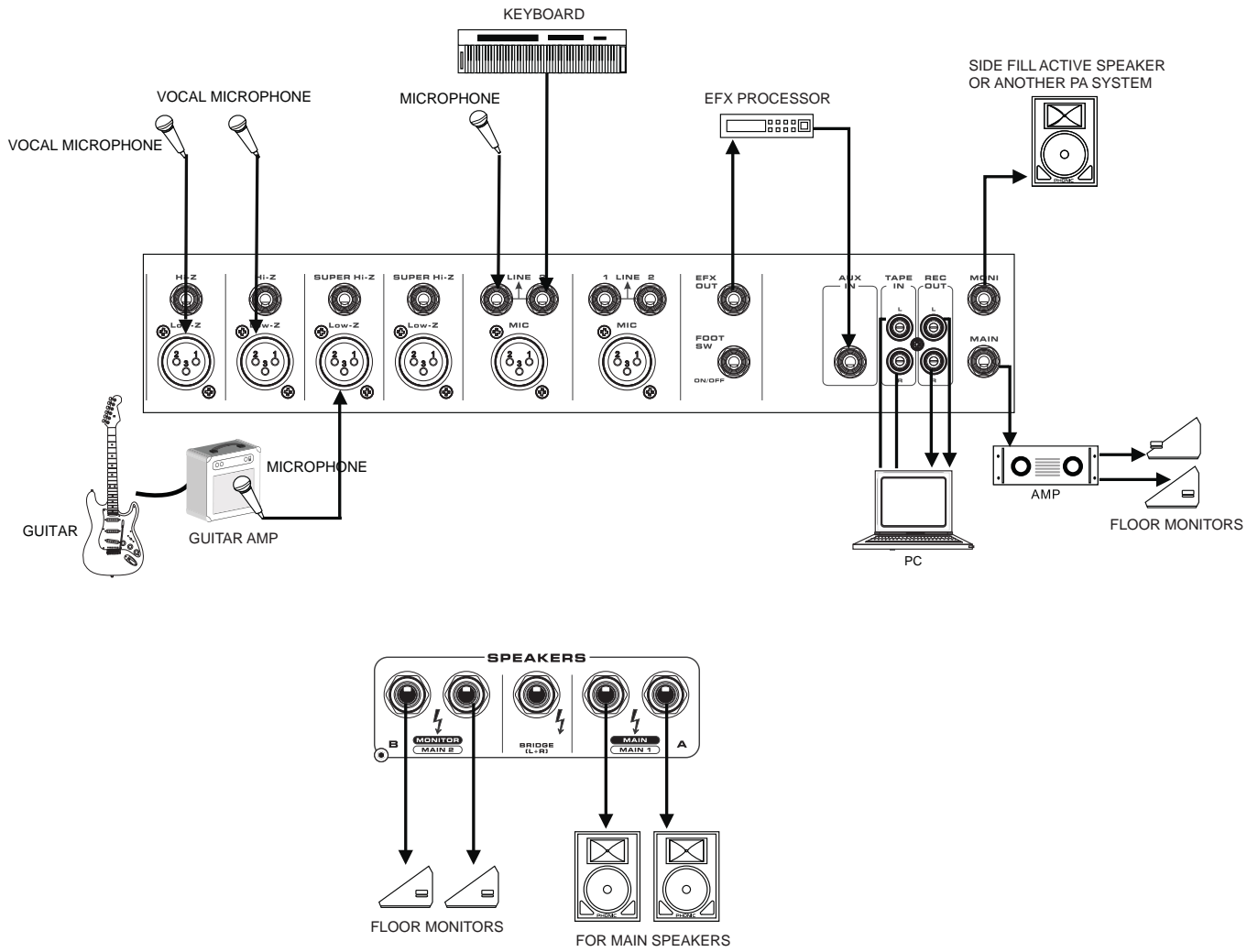
	620 PLUS	740 PLUS	780 PLUS	1062 PLUS	1082 PLUS
パワーアンプ出力チャンネル数	2	2	2	2	2
リミッター	なし	2	2	2	2
チャンネル別8Ω出力	70	135	200	200	270
チャンネル別4Ω出力	100	200	300	300	400
8Ωブリッジモノラル出力	200	400	なし	なし	なし
クロストーク (1kHz@0dBu、帯域幅20Hz~20kHz、チャンネル入力・メインL/R出力間)					
測定チャンネルミュート、他のチャンネル@ユニティ	なし	<-64dB	<-64dB	<-64dB	<-64dB
適正インピーダンス負荷接続時の周波数応答	+1/-3dB	+0/-2dB	+0/-2dB	+0/-2dB	+0/-2dB
ノイズ:20Hz~20kHz帯域幅、IHF-Aウェイト時、メインL/R出力へのライン入力、全チャンネルアサイン済み、パンL/R					
マスター出力、全フェーダーダウン	<-78dBu	<-78dBu	<-78dBu	<-78dBu	<-78dBu
パワーアンプ出力、全フェーダーダウン	<-63dBu	<-63dBu	<-63dBu	<-63dBu	<-63dBu
THD					
パワーアンプ出力、1 kHz、20 Hz~20 kHz	@50W、4Ω <0.12%	@100W、4Ω <0.5%	@100W、4Ω <0.5%	@100W、4Ω <0.5%	@100W、4Ω <0.5%
全出力、1 kHz @ +14 dBu、20 Hz~20 kHz、チャンネル入力	<0.06%	<0.3%	<0.3%	<0.3%	<0.3%
入出力					
Lo-Z/Hi-Zチャンネル	6/2 (470 kΩ Super Hi-Z 端子付き)	4/2 (470kΩ Super Hi-Z 端子付き)	4/2 (470kΩ Super Hi-Z 端子付き)	8/2 (470kΩ Super Hi-Z 端子付き)	8/2 (470kΩ Super Hi-Z 端子付き)
バランスマイク/ステレオラインチャンネル	2	3	3	2	2
2T入力	RCA	RCA	RCA	RCA	RCA
AUXリターン	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	アンバランスタイプ 2×1/4"TRS	アンバランスタイプ 2×1/4"TRS
メインL/Rステレオ	なし	なし	なし	アンバランスタイプ 2×1/4"TRS	アンバランスタイプ 2×1/4"TRS
メインモノラル	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	なし	なし
モニターセンド	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS
AUX/EFXセンド	アンバランスタイプ 1EFX×1/4"TRS	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS	アンバランスタイプ 1×1/4"TRS
フォン出力	なし	なし	なし	TRS	TRS
Record Out	RCA	RCA	RCA	RCA	RCA
スピーカー出力	5×1/4"TRS	5×1/4"TRS	4×1/4"TRS	4×1/4"TRS	4×1/4"TRS
マスターセクション					
モニター&AUX/EFXセンドマスター	2	2	2	2	2
ステレオAUXリターン	なし	なし	なし	1	1
モニター用エフェクトリターン	あり	あり	あり	あり	あり
フォンレベルコントロール	なし	なし	なし	あり	あり

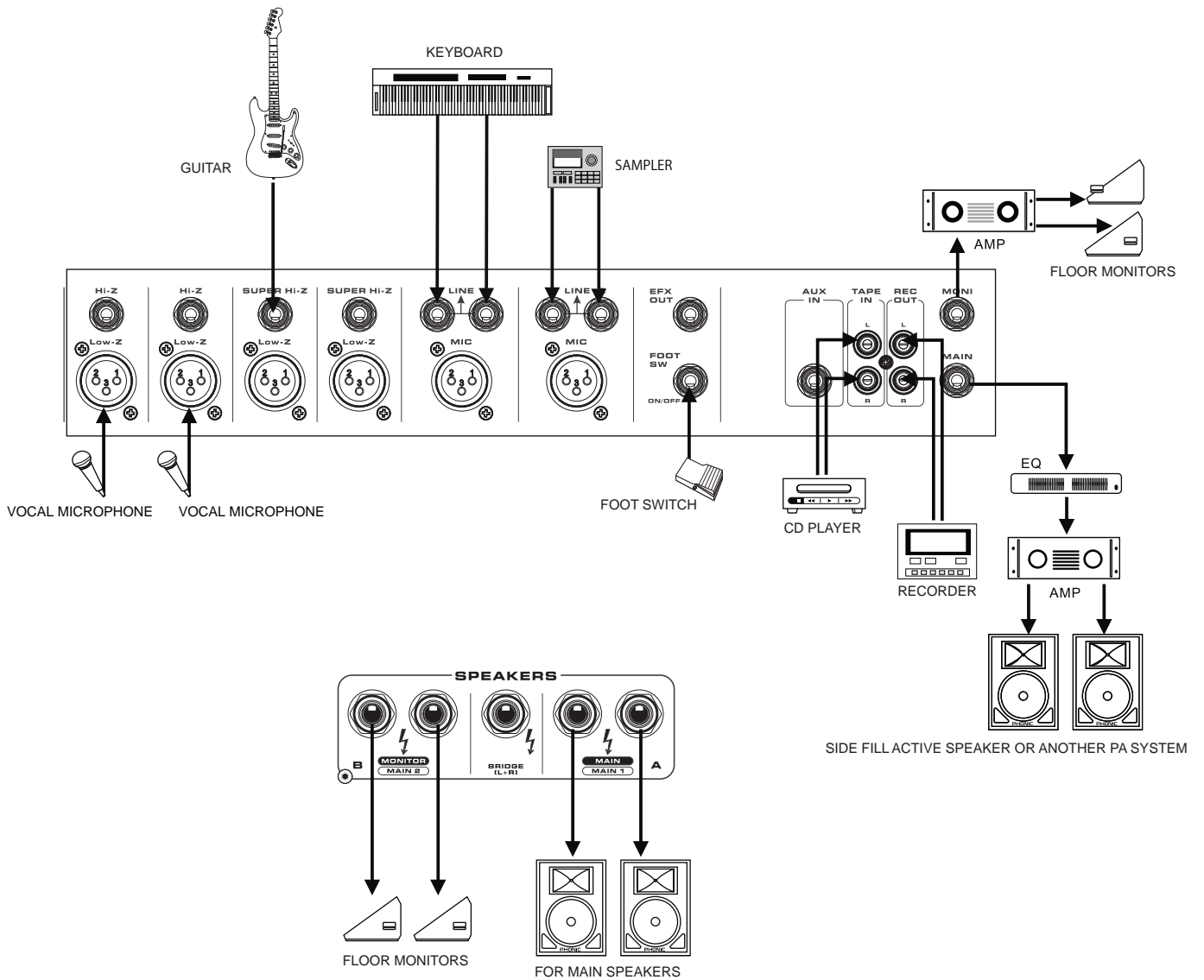
フェーダー	MONI、MAIN (回転式)	MONI、MAIN (回転式)	MONI、MAIN (回転式)	MONI、MAIN L/R (回転式)	MONI、MAIN L/R (回転式)
ファンタム電源	+48 V	+48 V	+48 V	+48 V	+48 V
内蔵デジタルエフェクトプロセッサ	16プログラム、メインパラメーターコントロール×1	16プログラム、メインパラメーターコントロール×1	16プログラム、メインパラメーターコントロール×1	16プログラム、メインパラメーターコントロール×1	16プログラム、メインパラメーターコントロール×1
フットスイッチ	デジタルエフェクトミュート：オン・オフ	デジタルエフェクトミュート：オン・オフ	デジタルエフェクトミュート：オン・オフ	デジタルエフェクトミュート：オン・オフ	デジタルエフェクトミュート：オン・オフ
内蔵グラフィックイコライザー	7バンドステレオ	7バンド×2	7バンド×2	7バンド×2	7バンド×2
CMRR (1kHz @ -60 dBu、ゲイン最大)	80dB	80dB	80dB	80dB	80dB
チャンネルイコライザー	2バンド、±15 dB	3バンド、±15 dB	3バンド、±15 dB	3バンド、±15 dB	3バンド、±15 dB
LOW EQ	80Hz	80Hz	80Hz	80Hz	80Hz
MID EQ (ステレオチャンネル)	なし	2.5KHz	2.5KHz	2.5KHz	2.5KHz
HIGH EQ	12KHz	12KHz	12KHz	12KHz	12KHz
サイズ (W × H × D)	440 x 265 x 275mm	471 x 265 x 275mm	471 x 265 x 275mm	471 x 285 x 275mm	471 x 285 x 275mm
重量	12kg	15.5kg	13.5kg	21.5kg	22.5kg

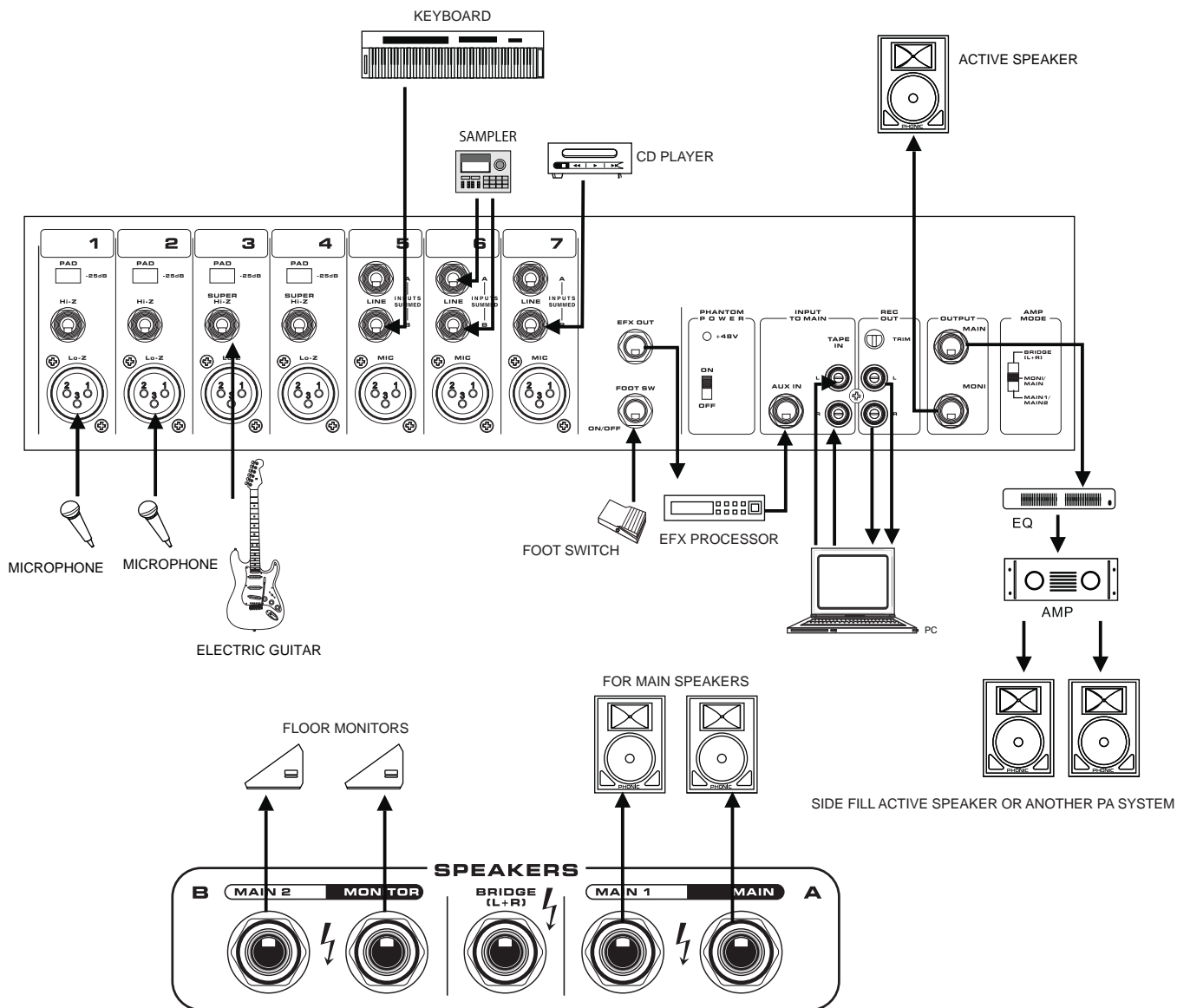
デジタルエフェクト

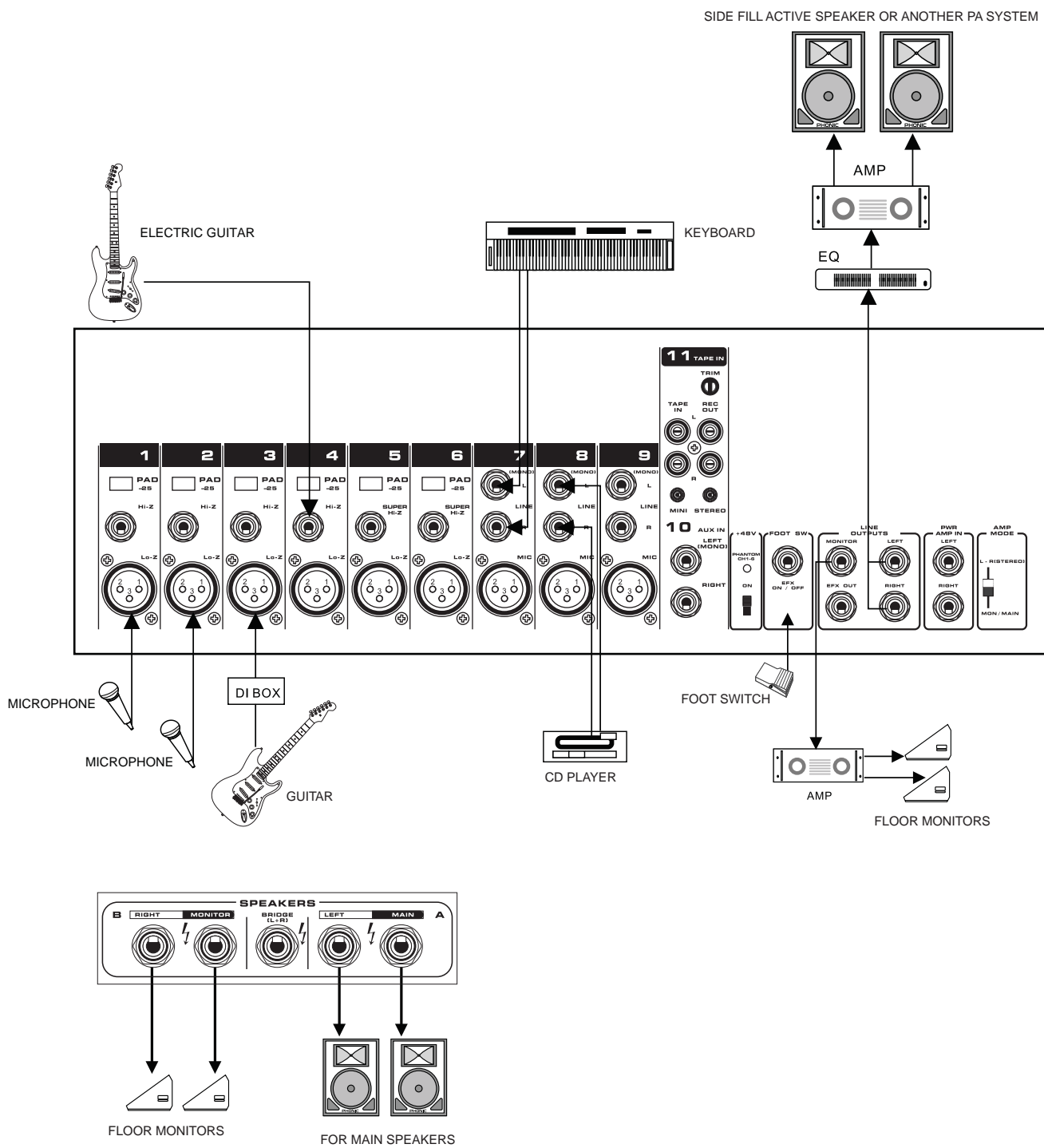
	Program	Parameter	Variable Range
1	Hall	Reverb Time	0.3 - 10 sec
2	Room	Reverb Time	0.3 - 3.2 sec
3	Plate	Reverb Time	0.3 - 10 sec
4	Cathedral	Reverb Time	0.3 - 10 sec
5	Arena	Reverb Time	0.3 - 10 sec
6	Spring	Reverb Time	0.3 - 10 sec
7	Opera	Reverb Time	0.3 - 10 sec
8	Rev Vocal	Reverb Time	0.3 - 10 sec
9	Slap Delay	Delay Time	0 - 800 ms
10	Echo	Delay Time	0 - 800 ms
11	Multi-Pong	Delay Time	0 - 800 ms
12	Karaoke	Delay Time & Feedback	Delay Time: 160 - 260 ms; Feedback: 45-65
13	Chorus + Rev	Depth	0 - 100%
14	Flange + Rev	Modulation Frequency	0.05 - 4.00 Hz
15	Phaser + Rev	Modulation Frequency	0.05 - 4.00 Hz
16	Tap Delay	Feedback Gain	0 - 99%

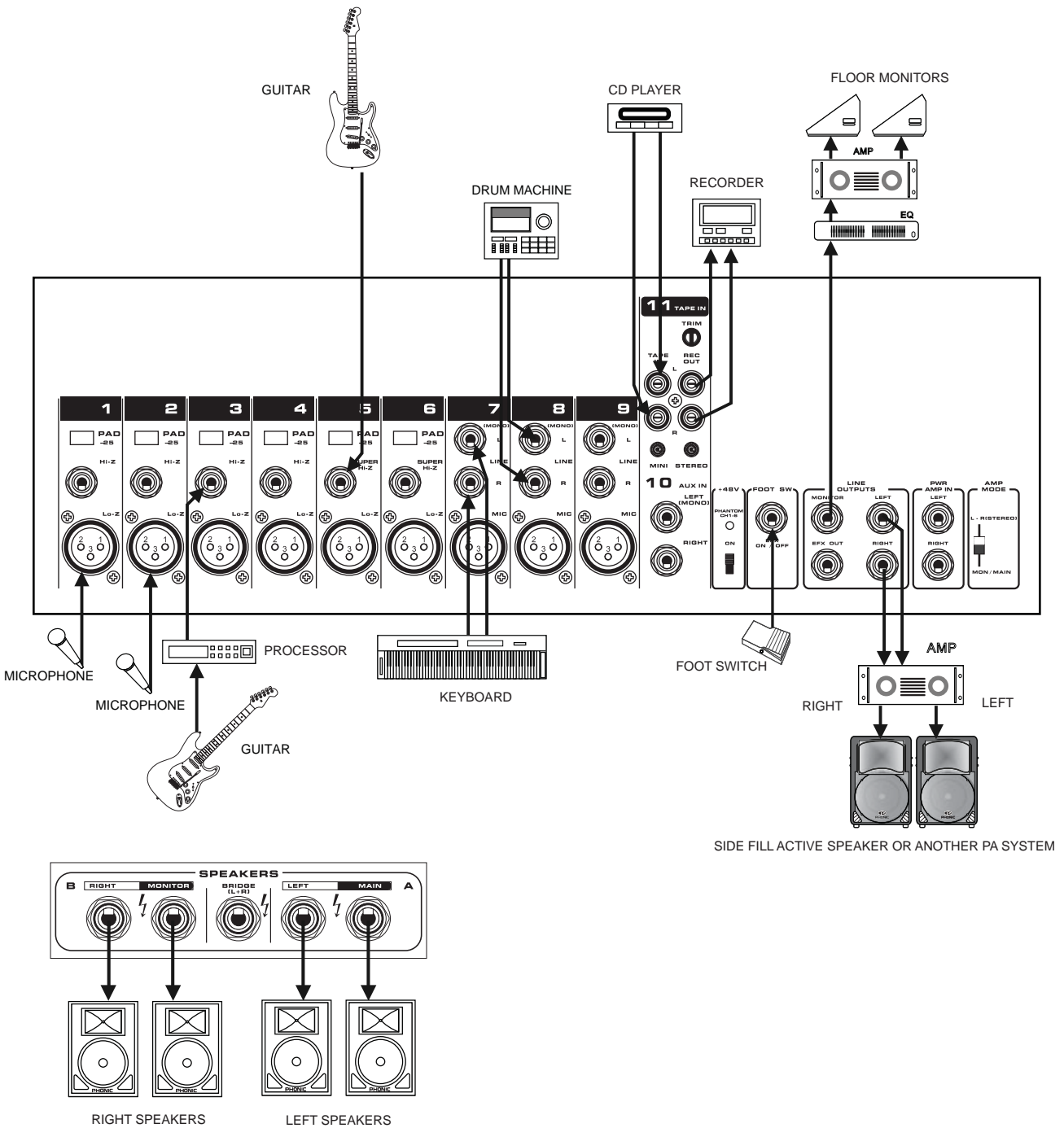
接続例





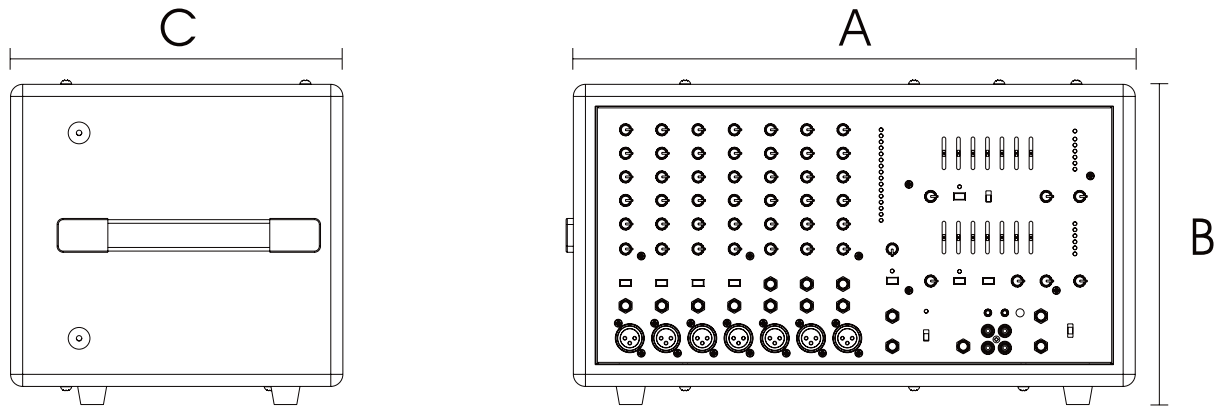






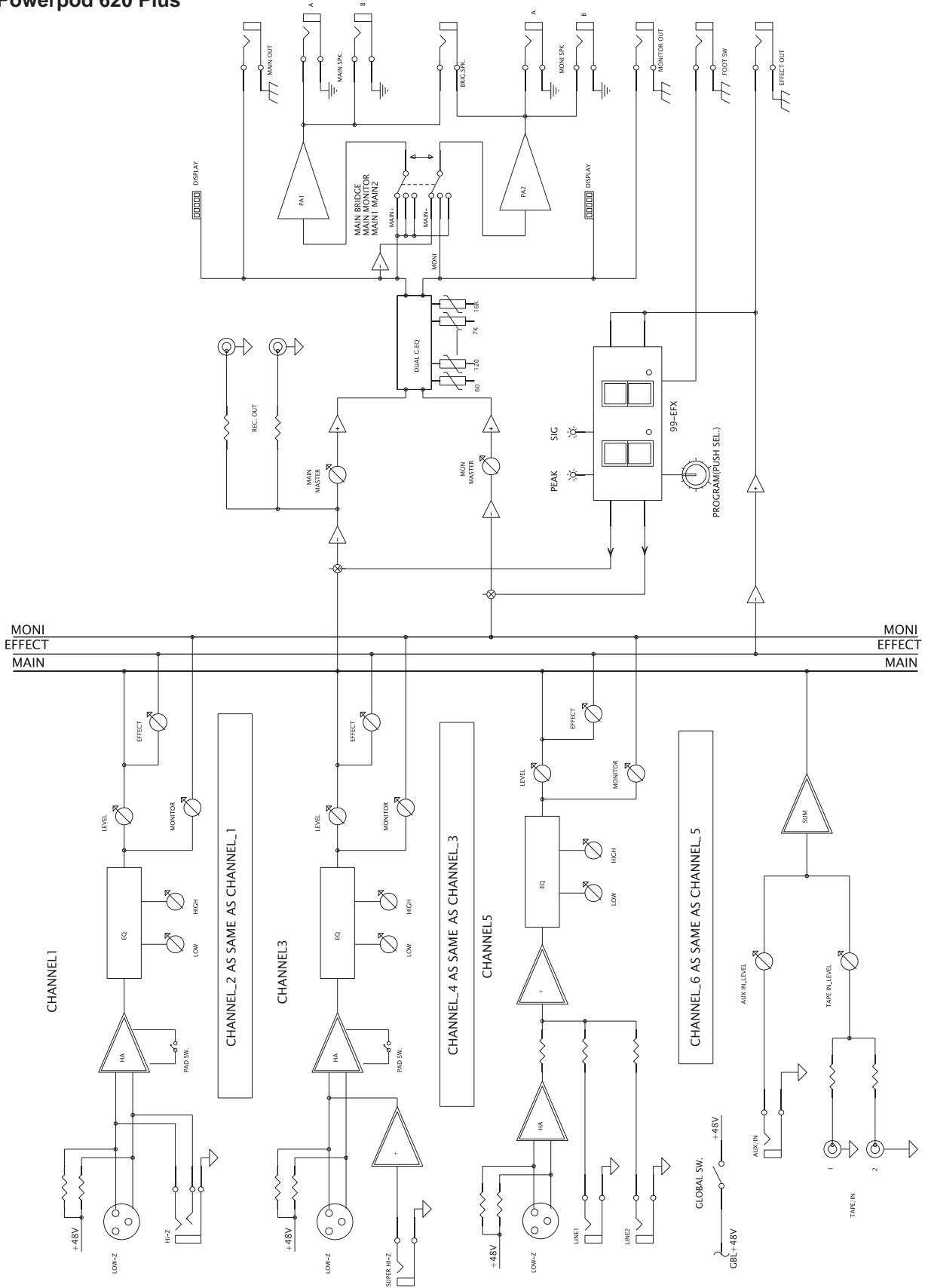
SIDE FILL ACTIVE SPEAKER OR ANOTHER PA SYSTEM

寸法

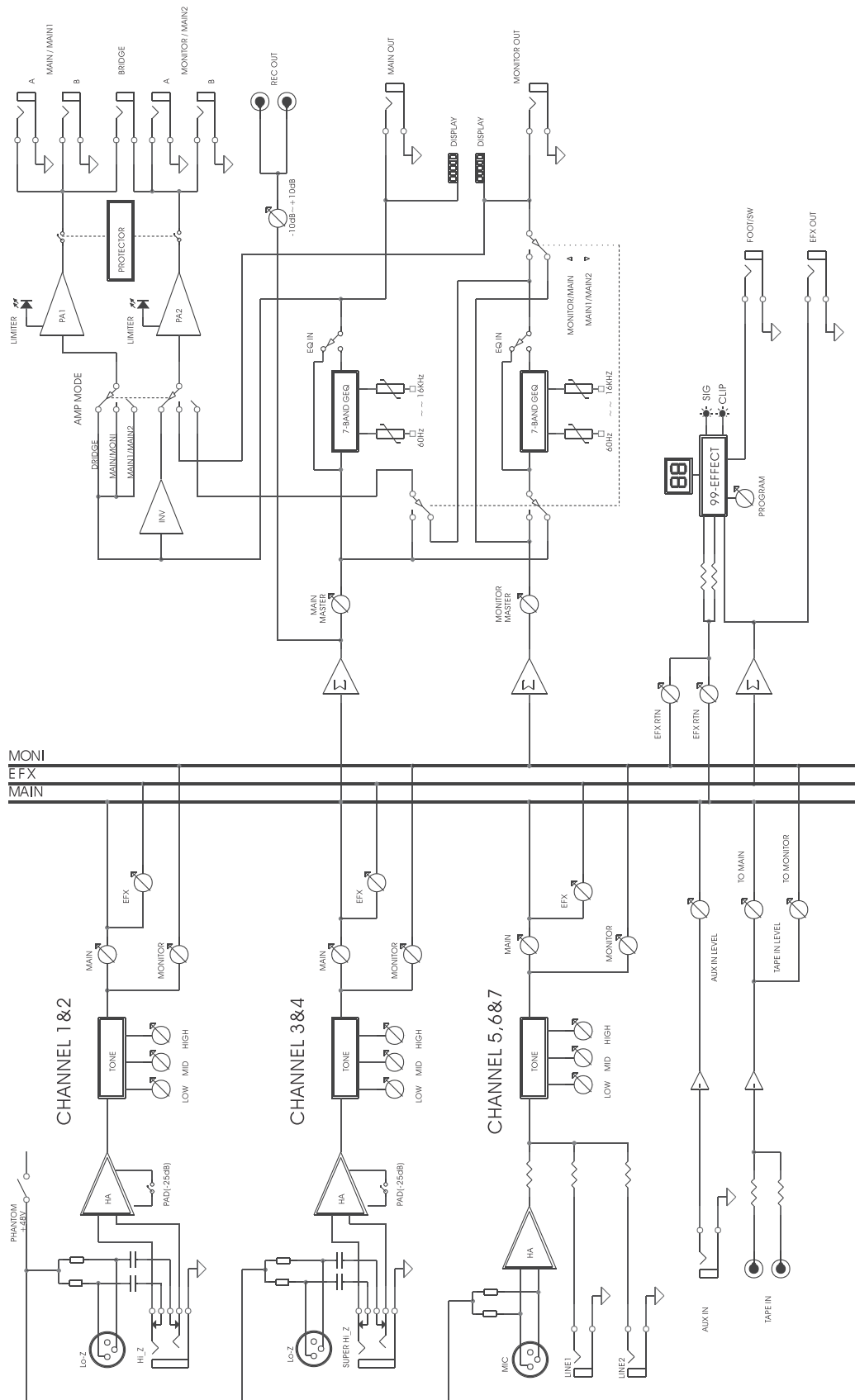


	Powerpod 620 Plus	Powerpod 740 Plus	Powerpod 780 Plus	Powerpod 1062 Plus	Powerpod 1082 Plus
A	440 mm	471 mm	471 mm	471 mm	471 mm
B	245 mm	265 mm	265 mm	285 mm	285 mm
C	275 mm	275 mm	275 mm	275 mm	275 mm

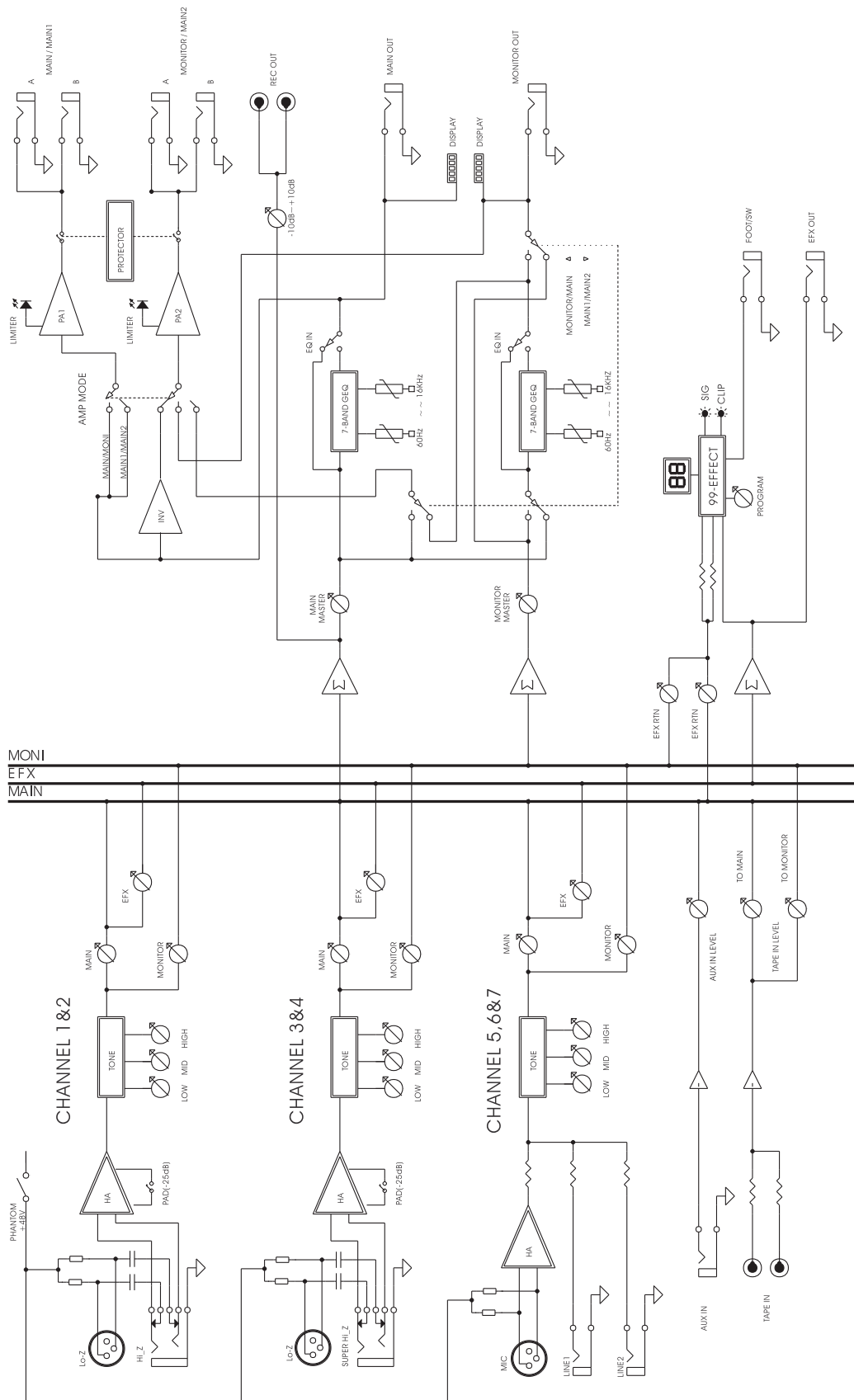
ダイアグラム Powerpod 620 Plus



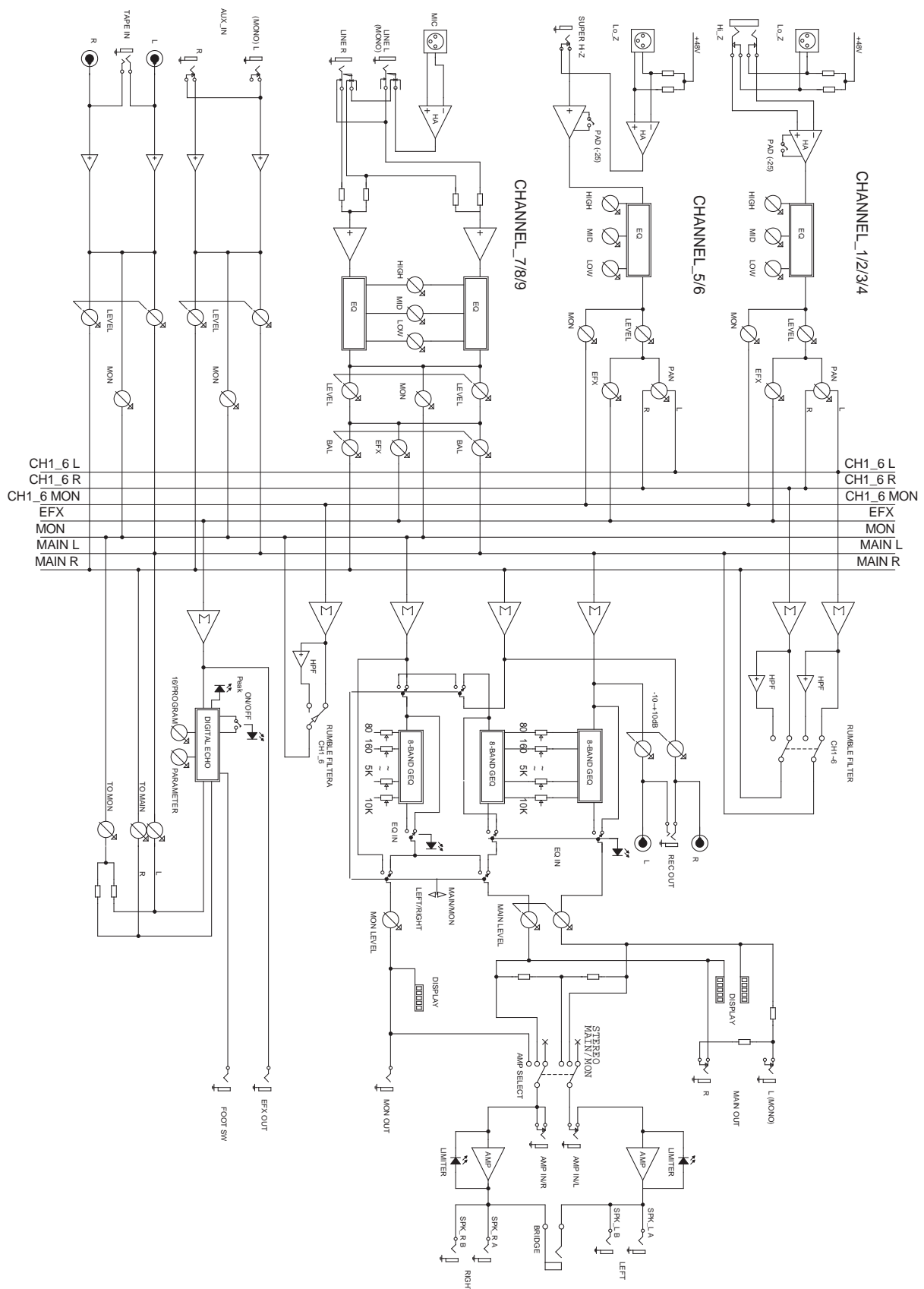
Powerpod 740 Plus

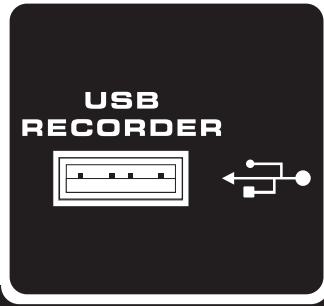


Powerpod 780 Plus



Powerpod 1062 Plus / 1082 Plus





“R”

- Recording

レコーディング機能

- 1.USBドライブを接続している状態で、RECボタンを押すと録音モードになります。
 - 2.WAV（録音形式）がディスプレイに表示され、次の利用可能なトラックの番号が表示されます。たとえば、12WAV方式ファイルがUSBに入っていると、「11/REC 013」と表示されます。
 - 3.録音モードがスタンバイ・一時停止の状態になります。Play/Pauseボタンを押すと、録音が始まります。
 - 4.Play/Pauseボタンを押すと録音が一時的に停止します。もう一度Play/Pauseを押すと、一時停止したところから、再び録音が始まります。
 - 5.録音中にRECボタンを押すと、それまでの音源は1つのトラックに保存されます。
(例：トラック13を録音している最中に、RECボタンを押すと、録音した音源はトラック13に保存され、トラック14に続きます)
 - 6.録音を終了するには、Play/Pauseボタンを押してください。
 - 7.録音を終了すると、先頭のMP3トラックが選択され、再生モードになります。Backボタンを一回押しと、先ほど録音したWAVになります。
- 注意：USBロータリーのコントロールで録音レベルを設定することはできません。録音レベルの設定は、各入力チャンネルのコントロールで行ってください。
- 安価なUSBメモリや大容量のUSBメモリをご使用された場合、録音データに音飛び現象が発生してしまう場合がございます。
- なるべく容量の小さいもの、高品質・高速記録が可能なUSBメモリをご使用されることを推奨いたします。

PHONIC
WWW.PHONIC.COM



PHONIC 正規輸入代理店
株式会社 キョーリツコーポレーション
www.kcmusic.jp/